

令和元年7月1日発行

編集発行 **173号**

社会福祉法人
宇都宮市社会福祉協議会
宇都宮市中央1丁目1番15号
宇都宮市総合福祉センター内
電話 028-636-1215(代)
FAX 028-638-9856
<http://www.utsunomiya-syakyo.or.jp>

宇都宮市社会福祉協議会

検索

うつのみや



社協だより

河内地区「福祉のまちづくり計画」を策定

～声かけ合って支えあい、笑顔で健康、福祉のかわち～



▲▼多くの意見が出された住民座談会



◀福祉マップづくり



◀完成した福祉のまちづくり計画

河内地区では、平成28年4月から“河内地区福祉のまちづくり計画”の策定に取り組み、地域住民の方々による座談会や地区福祉マップづくり等を経て、平成31年3月に完成しました。

今後は、自治会の協力のもと、地区内の全世帯に配付し、地域住民及び関係機関等の皆さまと共に、人に優しく、暮らしやすい「福祉のまち“かわち”」の実現を目指し、地域住民が主体となって協働し推進していきます。



▲白沢宿

“うつのみや社協だより”は、**回覧**です。よろしくお願い申し上げます。



福祉協力員205名を表彰、 2,539名に委嘱状を交付



～令和元年度 福祉協力員表彰式・委嘱状交付式を開催～

令和元年5月29日(水)、宇都宮市文化会館において開催しました。
福祉協力員制度は、平成4年度の制度開始から27年を迎えたことから、これまでの「10年表彰」に加え「20年表彰」を新たに設けて執り行いました。
長きにわたり地域福祉活動にご尽力いただいた205名の皆さま、受賞おめでとうございます。

○表彰式

20年表彰受賞者 77名
10年表彰受賞者 128名

○委嘱状交付式

2,539名に交付

○記念講演

『諦めない心』

講師 増淵倫巳氏

(ロンドンパラリンピック

男子車椅子バスケットボール日本代表)



▲表彰式の様子



▲増淵倫巳氏による講演の様子

福祉協力員とは...?

誰もが住み慣れた地域や家庭で安心して暮らし続けることができるよう、また、自立した心豊かな生活が送れるように、地域での「見守りや声かけ」など「住民相互の支えあい助けあい活動」を行う、地域福祉のボランティアです。

市内全39地区社会福祉協議会に設置され、多くの福祉協力員がそれぞれの地域で活躍しています。

◆福祉協力員の活動例



▲見守り活動



▲安心・安全情報キットの配付



▲ふれあい・いきいきサロンの運営



▲ふれあい会食会での昼食づくり

つどい刈沼（清原地区）

～歌や体操・脳トレで、楽しみながら健康に～

★ サロン情報

開催日時：毎月第2水曜日 午前10時～午後3時 ※昼食休憩1時間
その他、月2回

場 所：刈沼集会所

代 表 者：田中 勝江さん（地域住民）

立ち上げ動機：はつらつ教室の終了後も、健康づくりや仲間づくりを続けながら地域の居場所としての活動を広げようと、サロンとして立ち上げました。

★ 実施内容

- ・ストレッチ、体操
- ・脳トレ
- ・出前講座、講話
- ・歌、カラオケ など

みんなで作るにぎやかサロン

最高齢は御年93歳のカラオケ名人で、歌の力でサロンを盛り上げてくれています。その他にも、手先が器用な方、名司会者など様々な方が参加しており、みんなで和気あいあいとサロンを運営しながら、健康づくりや仲間づくりに励んでいます。



▲サロンのオリジナルソングもあります！

サロンのアピールポイント

- ・歌や体操などの活動をするうちにみるみる元気になり、利用していた介護保険サービスを利用しなくなった参加者もいます。
- ・脳トレにも力を入れています。体だけでなく頭も元気に、健康長寿を目指しています。
- ・月2回は近くのデイサービスの方々をお招きして交流するなど、地域貢献活動も行っています。



▲タオルを使って体操

サロン紹介コーナー

サロン音の和（富士見地区）

～音楽や手芸で、地域活性化～

★ サロン情報

開催日時：毎月第2・4木曜日 午前10時～正午

場 所：個人宅（久保様宅）

代 表 者：桶田 孝子さん（自治会役員）

立ち上げ動機：地域内で歩いてみんなが楽しく集まれる居場所（サロンの必要性を実感し、会場を探していたところ地元の方の好意で会場の提供があり、サロンを立ち上げました。

★ 実施内容

- ・体操
- ・手芸
- ・茶話会
- ・ピザ作り
- ・ピアノやギター演奏による歌 など

地域にはプロフェッショナルがいっぱい！！

サロンには地区社協や自治会、老人クラブの方々など多くの地域住民が参加しています。元教師、画家や書道の先生、手芸の先生などプロフェッショナルと呼ばれる方たちが、地域の中で星のごとくいらっしやり、皆さんいきいきと集いあっています。



▲手芸の様子

サロンのアピールポイント

第2木曜日は、市内を中心に活動するボランティアバンド「まつぼっくり」のギターやピアノ、オカリナ演奏による歌の会を実施しています。栃木県民の歌や季節の歌など、毎回20曲以上を参加メンバーが楽しく歌います。また、第4木曜日には、和紙人形やクリスマスリース作りなどの手芸を行い、参加者が互いに講師となりながら、楽しい時間を過ごしています。



▲演奏に合わせて、毎回20曲以上歌います

平成
30
年度宇都宮市社会福祉協議会
事業報告

令和元年6月5日の理事会、6月21日開催の評議員会において、平成30年度の事業及び収支決算について承認されましたので、ご報告いたします。

1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり

(1) 福祉のこころの醸成と交流活動の促進

①赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動の推進

- ア. 赤い羽根共同募金運動 34,678,378円
イ. 歳末たすけあい募金運動 19,786,448円

②やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会支援の充実

自主事業「やさしさをはぐくむ“こころの寄り添い”とは～こころに寄り添う、コミュニケーションについて学ぶ～」の開催

③宇都宮市民福祉の祭典支援の充実

(参加団体70団体)



(2) 福祉に関する人材の育成と共育の推進

①ボランティア養成の推進

- ア. 収集ボランティア活動の支援
イ. ボランティア体験プログラムの実施 (全26回/延232人)
ウ. 各種ボランティア養成講座の実施 (6講座/延263人)

- ・災害福祉救援ボランティア養成講座
・傾聴ボランティア養成講座
・福祉共育サポーター養成講座 など



②福祉共育講座の充実

- ア. 出前福祉共育講座の実施 (延115回/延4,166人)
イ. 福祉共育・ボランティア推進フォーラムの開催
・「オモイツタエル3.11」を開催しました。

2. 安心して暮らせる仕組みづくり

(1) 社会参画の促進

①老人クラブ支援の充実 (308クラブ/会員17,378人)



- ②地区福祉まつり支援の充実
③男性高齢者調理講習会事業の充実

(2) 情報提供体制の充実

- ①総合相談センター機能の強化 (開設回数延359回/相談件数延761件)
②地域福祉に関する広報・周知・啓発等情報発信の充実
ア. 広報紙「うつのみや社協だより」の発行 (年4回)
イ. ホームページの充実
ウ. 福祉に関する情報発信機能の充実

(3) 組織体制の強化

- ①会務の運営
②苦情解決体制

(4) 様々なニーズに応じたサービスの提供

- ①法人後見事業の実施 (法人後見受任7件/相談件数延56件)
②介護保険事業等の充実
ア. 訪問介護事業の運営
イ. 通所介護事業の運営
ウ. 居宅介護支援事業の運営
エ. 障がい福祉サービスの運営
③指定特定相談支援事業所・障害児相談支援事業所の運営
④福祉車両貸出サービス事業の推進
⑤福祉機器(車いす等)貸出事業の推進 (貸出件数延467件)
⑥福祉理美容出張費補助サービス事業の推進
⑦ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業の推進 (利用者延4,587人/配達本数延53,442本)



- ⑧福祉機器・介護用品展示室の開設
⑨社会福祉資金貸付事業
⑩各種事業に対する共催・後援



3. 地域で支えあうまちづくり

(1) 共に支えあう地域づくり

- ①コミュニティワークの推進
- ②地区社会福祉協議会支援の充実
 - ・地区社協会長研修会の開催
- ③ふれあい・いきいきサロン事業の推進
(39地区/282か所)
- ④ふれあい・いきいきサロン連絡会の開催
- ⑤安心・安全情報キット配付事業の推進
(累計39地区/延20,213本)
- ⑥自治会・民生委員児童委員協議会・まちづくり推進協議会・地域包括支援センター等関係機関等との連携・協働の推進
- ⑦ボランティアセンター機能の充実
 - ア. ボランティア相談・登録・調整の充実
 - ・各種相談・問合せ (延12,465件)
 - ・ボランティア活動調整件数 (延669件)
 - ・ボランティア登録数 (360団体/12,066人)
(個人/37人)
 - イ. ボランティア団体への活動支援の推進



- ⑧災害ボランティア活動等の実施
- ⑨ファミリーケアサービス事業の充実
- ⑩ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の促進



(2) 市民の主体的な地域活動への支援

- ①第4次宇都宮市地域福祉活動の推進
- ②福祉のまちづくり計画(小地域福祉活動計画)策定の支援
- ③福祉協力員制度の推進 (39地区/2,489人)
- ④社会福祉協議会会員制度の充実
(会員108,973件/会費35,248,539円)
- ⑤ぎんなん基金事業の充実
(寄附1017件/3,178,340円)
- ⑥善意銀行事業の促進
 - ・金銭・物品の預託・払い出しの実施
- ⑦敬老会開催の支援

4. 指定管理施設等の管理・経営

(1) 指定管理施設の管理・経営

- ①老人福祉センターの管理・経営
(5施設/年間利用者延246,810人)
 - ・ことぶき会館、ふれあい荘、やすらぎ荘、すこやか荘、上河内老人福祉センター
- ②地域活動支援センターの管理・経営(3施設)
 - ・雀の宮作業所、若草作業所(利用登録者30人)
 - ・障がい者福祉センター(利用登録者延106人)
- ③総合福祉センターの管理・経営(2施設)
 - ・宇都宮市総合福祉センター(会議室利用者延64,963人)
 - ・河内総合福祉センター
(会議室利用者延10,327人・大広間利用者延21,689人)



(2) 市からの受託事業等の実施

- ①障がい者生活支援センター事業の実施
(支援対象者延1,132人・相談件数延2,234件)
- ②地域包括支援センター事業の実施
 - ・地域包括支援センター御本丸
 - ・上河内地域包括支援センター

- ③日中一時支援事業の実施(利用者延3,486人)
 - ・あっとほーむ・うだい、あっとほーむ・すすめ、あっとほーむ・かわち、河内地域活動支援事業所
- ④障がい者福祉バス事業の実施
(利用者団体延200団体/利用者延4,200人)
- ⑤各種奉仕員養成講座の実施
(3講座/受講者延888人)
- ⑥宇都宮市意思疎通支援事業(要約筆記者派遣事業)の実施
(派遣件数41件/活動者延81人)
- ⑦宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業の実施
(認定団体数616団体/対象者数19,198人)
- ⑧生活困窮者自立相談支援事業の実施
(相談件数延763人・支援件数延4,381件)
- ⑨援護事業の実施
(行旅人への旅費貸付)(貸付件数94件)

(3) 県社協からの受託事業等の実施

- ①権利擁護センター「あすてらす」事業の実施
(利用者95人/相談件数延2,438件)
- ②生活福祉資金等貸付事業の実施
(貸付件数24件/相談件数延1,441件)



平成
30
年度

宇都宮市社会福祉協議会 決算報告

事業別決算額 (支出済額)

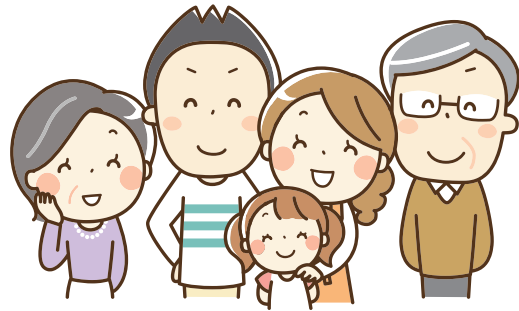
(1) 社会福祉事業

①法人運営	295,832,156円
②福祉活動推進事業	37,762,588円
③ボランティアセンター事業	29,031,428円
④総合相談センター事業	4,059,176円
⑤権利擁護・成年後見センター事業	10,091,856円
⑥ざんなん基金事業	25,795,145円
⑦善意銀行事業	241,896円
⑧共同募金配分金事業	35,726,329円
⑨生活福祉資金貸付事業	7,049,218円
⑩社会福祉資金貸付事業	3,288円
⑪老人福祉センター	212,159,022円
⑫地域活動支援センター	46,637,354円
⑬障がい者福祉センター	38,248,000円
⑭宇都宮市総合福祉センター	76,234,247円
⑮河内総合福祉センター	57,287,000円
⑯訪問介護事業	40,088,664円
⑰通所介護事業	25,150,563円
⑱居宅介護支援事業	12,420,382円
計	953,818,312円

(2) 公益事業

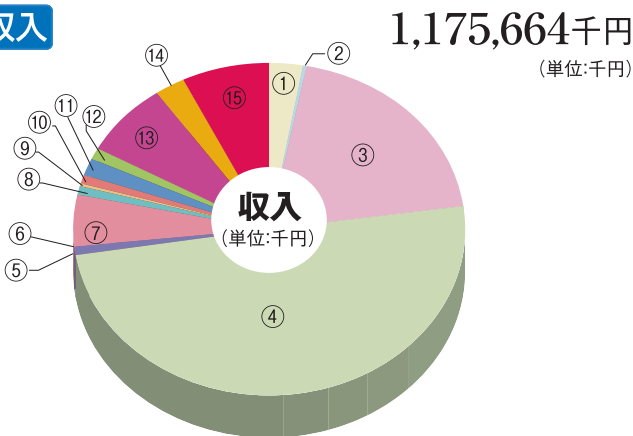
①地域包括支援センター御本丸	32,227,743円
②上河内地域包括支援センター	24,741,475円
③障がい者福祉バス事業	9,784,398円
④障がい者生活支援事業	17,922,005円
⑤日中一時支援事業	16,758,204円
⑥生活困窮者自立相談支援事業	25,141,776円
⑦ファミリーケアサービス事業	3,314,901円
合計	129,890,502円

総合計 1,083,708,814円



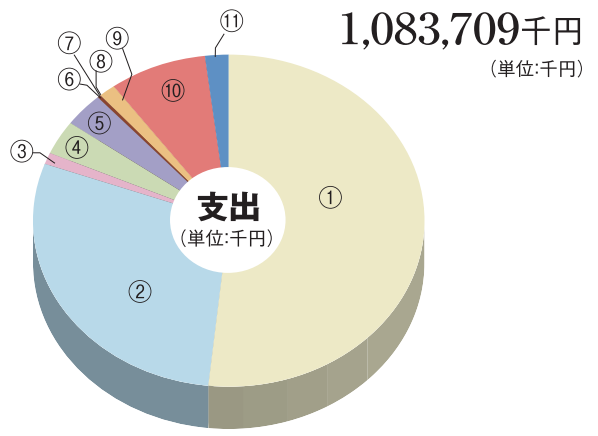
収支決算額

収入



①会費収入	35,310 (3.0%)	⑨受取利息配当金収入	2,326 (0.2%)
②寄附金収入	3,421 (0.3%)	⑩その他の収入	10,342 (0.9%)
③経常経費補助金収入	231,314 (19.7%)	⑪基金積立資産取崩収入	20,108 (1.7%)
④受託金収入	583,898 (49.6%)	⑫積立資金取崩収入	12,400 (1.0%)
⑤事業収入	11,374 (0.9%)	⑬事業・拠点・サービス区分 繰入金収入	87,339 (7.4%)
⑥負担金収入	23 (0.1%)	⑭その他の活動収入	29,071 (2.5%)
⑦介護保険事業収入	56,148 (4.8%)	⑮前年度繰越金	81,982 (7.0%)
⑧障害福祉サービス等事業収入	10,608 (0.9%)		

支出



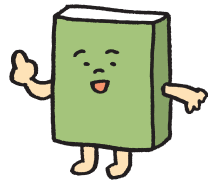
①人件費支出	560,568 (51.7%)	⑧固定資産取得支出	1,833 (0.2%)
②事業費支出	312,989 (28.9%)	⑨基金積立資産支出	15,493 (1.4%)
③事務費支出	12,185 (1.1%)	⑩事業・拠点・サービス区分 繰入金支出	87,339 (8.0%)
④共同募金配分金事業費支出	35,903 (3.3%)	⑪その他の活動支出	18,062 (1.7%)
⑤助成金支出	35,836 (3.3%)		
⑥負担金支出	3,476 (0.3%)		
⑦返還金支出	25 (0.1%)		

次年度繰越 91,955千円



ボランティアセンターで行っている事業をご紹介します

出前福祉共有講座



ボランティアセンターでは、障がいのある方々や地域のボランティアの方々の協力のもと、「学校」「地域」「企業」などすべての市民を対象に出前福祉共有講座を実施しています。
この講座は、障がいのある方の「できないこと、困っていること」に目を向けるのではなく、実際に福祉の体験をしながら「障がいがあっても、自分でできることがたくさんある」「支援が必要な時と、そうでない時がある」といったことに参加者自身が気づき、理解することを目的に行っています。
福祉について考え、理解を深める機会として、ぜひご利用ください。

○講座利用までの流れ

■ステップ1【実施計画・相談】

・実施希望日の2ヶ月以上前を目安に計画し、ボランティアセンターへお電話ください。



※ご利用の手引きや申請書類については、ボラセンHPの
ボラセンの事業 → 出前福祉共有講座にてご確認ください。

■ステップ2【実施日時等の調整】

・ボランティアセンターにて講師・アシスタントの調整を行います。

■ステップ3【事前打合せ】

・依頼者、講師、アシスタント、ボランティアセンターの4者にて実施する講座内容の確認などを行います。



■ステップ5【事後アンケートの提出】

・終了後、実施報告書をご提出ください。

■ステップ4【講座の実施】

・事前打合せに基づき講座を実施します。

講座メニュー

「視覚」障がいを学ぼう

- ・アイマスク体験
- ・点字体験
- ・盲導犬体験

「聴覚」障がいを学ぼう

- ・手話体験
- ボランティアってどんな活動？
- ・ボランティア講話

「身体」障がいを学ぼう

- ・車いす介助体験

善意銀行

ご協力ありがとうございました。
皆様のあたたかい善意に心より感謝いたします。

使用済み切手やブルタブによる益金は、宇都宮市内の地域福祉活動やボランティア活動の推進・支援に活用させていただきます。

平成31年3月～平成31年4月

寄附順・敬称略

預託者名	預託品等	預託者名	預託品等
沼子 典司 (2回)	ブルタブ	三信電工株式会社 (2回)	使用済み切手
杉山 良一	ブルタブ	宇都宮市宝木小学校	ブルタブ
手塚 晴彦	ブルタブ	宇都宮機器 (株)	使用済み切手
宇都宮商工会議所 女性部	ブルタブ・使用済み切手	栃木県立益子芳星高等学校 生徒会	ブルタブ
小黒 多市	靴下・肌着・タオル	山岡 利雄	ブルタブ
匿名	シルバーカー2台・杖5本	下川俣自治会	ブルタブ
下野新聞社	使用済み切手	平出幼稚園	ブルタブ
メットライフ生命	ブルタブ	すずめのお宿	卓球台
カルビー株式会社新宇都宮工場	使用済み切手	江田 實	ブルタブ
おしゃべりサロン・小幡 (第2回)	ブルタブ	羽黒台自治会	ブルタブ
栃木県中部郵便局長会	使用済み切手	(公社) 宇都宮市シルバー人材センター女性部会	ぞうきん

【お問い合わせ】 ボランティアセンター (総合福祉センター 8階) 電話 636-1285 FAX 634-2870
ホームページもご覧ください。

日本赤十字社「会費」にご協力お願いします 赤十字活動は皆さまに支えられています！

日本赤十字社が実施している国際救援活動や国内の災害救護活動、また身近に行われている救急法などの講習普及事業、学校等で行う青少年赤十字活動(JRC)などの様々な活動は、財政面で支援する「協力会員／会員」の皆さまからの「会費」と、広く皆さまからお寄せいただく「寄附金」を合わせた「活動資金(社資)」によって支えられています。

赤十字の趣旨・事業活動をご理解いただき、ご支援ご協力をお願いします。

※日赤社資は、皆さまの意志に基づくもの(任意)であり、強制するものではありません。

日本赤十字社の活動に賛同し、年額500円以上協力してくださる方を「協力会員」といいます。年額2,000円以上を納め支援してくださる方を「会員」といいます。

※平成30年度は、
43,761,809 円のご協力をいただきました。
ありがとうございました。

詳しくは、
日本赤十字社
ホームページを
ご覧ください。

日本赤十字社
<http://www.jrc.or.jp>
日本赤十字社栃木県支部
<http://www.jrc-tochigi.org/index.html>
電話 622-4327



「生命保険協会栃木県協会」様より福祉巡回車両を寄贈していただきました。

平成31年2月28日(木)、とちぎ福祉プラザにて、「生命保険協会栃木県協会 福祉巡回車両寄贈式」が行われ、本会を含めた3市社会福祉協議会に軽自動車を1台ずつ、福祉巡回車両として寄贈していただきました。

この事業は、栃木県協会加盟会社の全職員を対象に、毎年12月に「愛のふれあい募金」を行い、寄附された募金を元に実施されています。

平成30年度時点で、累計81台の福祉巡回車両を、県内の社会福祉協議会へ寄贈していただいております。

いただきました車両は、生活困窮者自立相談支援事業を中心に、有効に活用させていただきます。



▲寄贈された福祉車両



▲ゴールデンキー受け渡しの様子

ぎんなん基金

ご協力ありがとうございました。
皆さまのあたたかい善意に心より感謝いたします。
ぎんなん基金は地域福祉事業に活用させていただきます。



平成31年3月25日～令和元年5月27日

寄附順・敬称略

寄附者(団体)	金額(円)	寄附者(団体)	金額(円)
宇都宮さつき&花フェア実行委員会	10,000	なかよし善行ネットワーク 代表 宋美恵(2回)	7,854
宇都宮市総合福祉センターお客さま一同	1,398	関東西濃運輸(株)労働組合 宇都宮支部	150,000
平久井 拓也(2回)	6,000	大貫 隆久	1,000,000
泉が丘地域コミュニティセンター	1,025	絆の会歌謡愛好会 会主 山田 孝政	20,000
猪田 一良	1,568	レーザーカラオケ 中央支部友好会 支部長 及川ミネ子(2回)	31,435
ステップ希望 会長 石川 孝子	14,000	匿名(3件)	4,747
(有)匠堂宇都宮 栃木美術倶楽部	15,000		

平成30年度の寄附総額 **累計 3,178,340 円**
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

【お問い合わせ】総務企画課(総合福祉センター1階) 電話636-1215 FAX638-9856